

外皮用殺菌消毒剤

無水エタノール「東豊」

日本薬局方 無水エタノール

Anhydrous Ethanol

開封日 年 月 日

500mL

製造販売元

東豊薬品株式会社

東京都葛飾区西新小岩 4-15-3

日本標準商品分類番号 872615

承認番号	16000AMZ05461
薬価収載	2008年7月
販売開始	1965年10月
再評価結果	1982年8月

- 【貯法】 気密容器、遮光して
火気を避け室温保存
- 【使用期限】 製造の翌月から3年
- 【注意】 取扱い上の注意の項参照

【禁忌】 (次の部位には使用しないこと)
損傷皮膚及び粘膜[刺激作用を有する]

※【組成・性状】

組成: 本剤は15℃でエタノール(C₂H₆O)99.5vol%以上を含む。

性状: 本剤は無色澄明の液である。

【効能又は効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒。

【用法及び用量】

本品を精製水でうすめて、エタノールとして76.9~81.4%とし、これを消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

本剤は血清、膿汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹等
皮膚 ^{注)}	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1) 人体

- 1) 原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。
- 2) 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 3) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。
- 4) 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

4. その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

※【薬効薬理】

本剤は、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

【取扱い上の注意】

- ※1. 本剤は引火性、爆発性があるため、火気に注意すること。又、電気メスを使用する場合には本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。
2. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐蝕を防止するために0.2~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
3. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。

〈注意〉 **火気厳禁** アルコール類
水溶性 危険等級II

製造番号

使用期限



※2020年9月改訂(第7版)
(薬効薬理の記載変更)

※2015年7月改訂(第6版)
(組成・性状の記載方法変更、
取扱い上の注意改訂)

外用用殺菌消毒剤

無水エタノール「東豊」

日本薬局方 無水エタノール

Anhydrous Ethanol

開封日

年

月

日

16L

製造販売元

東豊薬品株式会社

東京都葛飾区西新小岩4-15-3

あるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^(B)	発疹等
皮膚 ^(E)	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1) 人体

- 1) 原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。
- 2) 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 3) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。
- 4) 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

4. その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

※【薬効薬理】

本剤は、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

【取扱上の注意】

- ※1. 本剤は引火性、爆発性があるため、火気に注意すること。又、電気メスを使用する場合には本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。
2. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐蝕を防止するために0.2～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
3. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。

(注意)

火気厳禁	アルコール類
水溶性	危険等級II

製造番号

使用期限



プロテクト:PE
ベ ロ:PE

※2020年9月改訂(第7版)
(薬効薬理の記載変更)

※2015年7月改訂(第6版)

(組成・性状の記載方法変更、
取扱い上の注意改訂)

【貯法】 気密容器、遮光して
火気を避け室温保存

【使用期限】 製造の翌月から2年

【注意】 取扱い上の注意の項参照

【禁忌】 (次の部位には使用しないこと)
損傷皮膚及び粘膜〔刺激作用を有する〕

※【組成・性状】

組成: 本剤は15℃でエタノール(C₂H₅O) 99.5vol%以上を含む。

性状: 本剤は無色澄明の液である。

【効能又は効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒。

【用法及び用量】

本品を精製水でうすめて、エタノールとして76.9～81.4V/v%とし、これを消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

本剤は血清、膿汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことが

日本標準商品分類番号 872615

承認番号 16000AMZ05461

薬価収載 2008年7月

販売開始 1965年10月

再評価結果 1982年8月